



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 東和薬品株式会社

コード番号 4553 URL <https://www.towayakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田中政男 TEL 06-6900-9102

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	107,396	18.7	7,003	117.5	10,233	122.0	6,953	158.3
2023年3月期第2四半期	90,500	10.0	3,220	△68.8	4,609	△64.6	2,692	△70.9

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 11,451百万円（39.8%） 2023年3月期第2四半期 8,192百万円（△24.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	141.26	—
2023年3月期第2四半期	54.70	—

（注）「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	392,919	146,861	37.4
2023年3月期	371,347	136,894	36.9

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 146,861百万円 2023年3月期 136,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年3月期	—	30.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	216,300	—	11,800	—	11,500	—	6,900	—	140.18

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 前連結会計年度は、連結子会社9社の決算期変更の経過期間となり、当該連結子会社は15ヵ月（2022年1月1日～2023年3月31日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	51,516,000株	2023年3月期	51,516,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,296,756株	2023年3月期	2,294,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	49,221,463株	2023年3月期2Q	49,221,871株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は、2023年2月13日開催の取締役会において、連結決算における連結子会社9社の決算日を12月末日から3月末日に変更することを決定いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間の連結決算は当該連結子会社9社の2023年4月1日～2023年9月30日の決算を取り込んだものとなっており、前第2四半期連結累計期間の連結決算は当該連結子会社9社の2022年1月1日～2022年6月30日の決算を取り込んだものとなっております。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループにおいては、「人々の健康に貢献し、こころの笑顔を大切にすること」を企業理念として、2021年5月に発表した「第5期 中期経営計画2021-2023 PROACTIVE II」（以下、「中期経営計画」という）に基づき、国内外でのジェネリック医薬品事業をコア事業としつつ、「健康長寿社会」に対応した医療・介護の実現や、医療から未病のケア・予防へシフトする社会に貢献する健康関連事業の展開を目指し、各種課題に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

連結業績 (単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	90,500	107,396	16,895	18.7%
売上原価	57,325	69,155	11,830	20.6%
売上総利益	33,175	38,240	5,065	15.3%
販売費及び一般管理費	29,954	31,237	1,282	4.3%
営業利益	3,220	7,003	3,782	117.5%
経常利益	4,609	10,233	5,624	122.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,692	6,953	4,260	158.3%

東和薬品株式会社において、近年追補品を中心に販売数量が伸びたことと、販管費の費消の遅れがあったことにより、好調な結果となりました。

業績につきましては、売上高107,396百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益7,003百万円（同117.5%増）、経常利益はデリバティブ評価益3,080百万円が発生したことで10,233百万円（同122.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,953百万円（同158.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりです。報告セグメントのセグメント利益につきましては、のれん償却前の数値となっております。

セグメント別業績 (単位：百万円)

	国内セグメント				海外セグメント			
	2023年 3月期 第2四半期	2024年 3月期 第2四半期	増減額	増減率	2023年 3月期 第2四半期	2024年 3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	70,597	84,173	13,575	19.2%	19,902	23,297	3,395	17.1%
セグメント 利益	5,048	8,880	3,831	75.9%	217	253	36	16.7%

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値です。

(国内セグメント)

国内ジェネリック医薬品業界では、2017年に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017(骨太方針2017)」のもとで、ジェネリック医薬品の使用割合を2020年9月までに80%までに高めることが目標として掲げられ、当社をはじめとするジェネリック医薬品業界は、生産体制の拡充と安定供給に努めてまいりました。ジェネリック医薬品の普及が進んだ結果、2023年6月の数量シェアは81.7%(2023年4-6月期 日本ジェネリック製薬協会調べ)となりました。

一方、2020年に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」を踏まえ、2021年度以降は2年に1度の通常の薬価改定に加えて中間年における薬価改定が実施され、薬価改定が毎年行われることになり、医薬品業界にとって極めて厳しい状況となっております。

さらに、2020年に発覚したジェネリック医薬品企業における品質問題を起因とした一連の供給不安により、ジェネリック医薬品に対する信頼感は低下し、ジェネリック医薬品業界の置かれた環境は厳しさを増しております。このような状況の中、2023年6月に厚生労働省から公表された「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会 報告書」において、供給不安に関する課題の記載と、後発品産業構造の見直しに関する提言がなされました。また、2023年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2023(骨太方針2023)」にも、「医療上の必要性を踏まえた後発医薬品をはじめとする医薬品の安定供給確保、後発医薬品の産業構造の見直し」の強化を図るという記載がなされました。「有識者検討会 報告書」における提言を踏まえ、現在、「後発医薬品の安定供給等の実現に向けた産業構造のあり方に関する検討会」で産業のあるべき姿やその実現に向けた産業政策について幅広い議論が行われています。

以上のような環境の下、当社グループの国内ジェネリック医薬品事業においては、安定供給責任を果たすために増産に向けた新規設備の導入と増員に取り組み、年間の生産能力は140億錠となりました。また、2023年10月完成を目指して山形工場に第三固形製剤棟の建設を進め、2024年度以降、175億錠の生産能力を実現する計画としております。

製造管理及び品質管理面では、医薬品の製造管理及び品質管理の基準であるGMP省令やその他関連する法令遵守はもちろんのこと、国際的基準であるPIC/S GMPやICHガイドラインも積極的に取り入れ、独自の制度・教育訓練により、医薬品の適切な品質と安全性の確保に取り組んでおります。また、安定供給体制の維持・強化のため、原薬の複数購買化や製造所の監査等を推進し、グループ全体として原薬製造から製剤製造、物流、販売に至るまで、ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを継続して行っております。

販売面では、2023年6月に新製品2成分5品目の発売を開始し、当社のジェネリック医薬品の製品数は338成分776品目(2023年6月時点)となりました。なお、2023年12月追補収載予定の新製品は2成分4品目となります。

健康関連事業の展開においては、「健康長寿社会に対応した医療・介護の実現や、医療から未病のケア・予防へシフトする社会に貢献する」ことを課題として認識し、当社の「人々の健康に貢献する」という理念に沿って、新規事業の創出に取り組んでおります。地域包括ケアシステム等の新しい医療体制への対応や、「健康寿命の延伸」の実現に向け未病対策や健康維持に関連する様々な新規事業の創出に注力し、健康関連事業の多角的な展開を実現してまいります。

当第2四半期連結累計期間の国内セグメントの業績は、売上高84,173百万円(同19.2%増)、セグメント利益8,880百万円(同75.9%増)となりました。

(海外セグメント)

当社グループの海外セグメントでは、海外市場での拡大と成長に向け、Towa Pharma International Holdings, S.L.(以下、「Towa HD」という。)を通じて、欧州及び米国市場でのジェネリック医薬品事業を展開しております。Towa HDが持つ欧州複数国及び米国での販売網と、欧州にある欧米等の基準に準拠した製造拠点を活用し、日米欧の3極から世界中の患者に高品質で付加価値のあるジェネリック医薬品を提供できるグローバル事業基盤を確立してまいります。

当第2四半期連結累計期間の海外セグメントの業績は、売上高23,297百万円(同17.1%増)、セグメント利益253百万円(同16.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、392,919百万円となり、前連結会計年度末比21,571百万円の増加となりました。その主な要因は、棚卸資産の増加6,878百万円、建設仮勘定の増加6,817百万円、受取手形及び売掛金の増加6,633百万円などです。

負債につきましては、246,057百万円となり、前連結会計年度末比11,604百万円の増加となりました。その主な要因は、電子記録債務の減少8,057百万円などがあつたものの、長期借入金の増加20,641百万円などがあつたことによるものであります。

純資産につきましては、146,861百万円となり、前連結会計年度末比9,967百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加5,476百万円、為替換算調整勘定の増加4,447百万円などです。

その結果、自己資本比率は37.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に対して296百万円減少し、23,960百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは4,524百万円の支出（前年同期比2,814百万円増）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益10,392百万円（同5,812百万円増）や減価償却費6,554百万円（同322百万円増）などがあつたものの、仕入債務の減少10,287百万円（同8,842百万円増）、売上債権の増加6,307百万円（前年同期は売上債権の減少2,755百万円）などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、17,814百万円の支出（前年同期比9,580百万円増）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出18,047百万円（同10,544百万円増）などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、21,129百万円の収入（前年同期比14,453百万円増）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出3,689百万円（同440百万円減）などがあつたものの、長期借入れによる収入25,999百万円（同9,599百万円増）などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表した2024年3月期の連結業績予想（通期）は、修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,257	23,960
受取手形及び売掛金	46,795	53,428
電子記録債権	7,777	8,348
商品及び製品	44,457	48,744
仕掛品	13,906	14,559
原材料及び貯蔵品	34,564	36,502
その他	11,413	13,502
貸倒引当金	△180	△50
流動資産合計	182,990	198,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,190	56,787
機械装置及び運搬具（純額）	18,966	17,966
土地	17,039	17,223
建設仮勘定	31,155	37,972
その他（純額）	3,652	3,898
有形固定資産合計	127,004	133,849
無形固定資産		
のれん	34,613	33,006
その他	18,332	18,211
無形固定資産合計	52,945	51,217
投資その他の資産		
投資有価証券	676	749
その他	8,542	8,928
貸倒引当金	△812	△822
投資その他の資産合計	8,407	8,855
固定資産合計	188,357	193,922
資産合計	371,347	392,919

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,272	15,388
電子記録債務	18,798	10,741
短期借入金	3,677	4,134
1年内返済予定の長期借入金	7,527	9,269
未払法人税等	1,190	4,199
引当金	117	101
その他	29,944	25,843
流動負債合計	78,529	69,679
固定負債		
長期借入金	150,314	170,955
退職給付に係る負債	322	273
その他	5,287	5,150
固定負債合計	155,923	176,378
負債合計	234,453	246,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,837	7,836
利益剰余金	121,232	126,709
自己株式	△5,608	△5,615
株主資本合計	128,179	133,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	157
為替換算調整勘定	8,608	13,056
その他の包括利益累計額合計	8,715	13,213
純資産合計	136,894	146,861
負債純資産合計	371,347	392,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
売上高	90,500	107,396
売上原価	57,325	69,155
売上総利益	33,175	38,240
販売費及び一般管理費	29,954	31,237
営業利益	3,220	7,003
営業外収益		
受取利息	6	22
受取配当金	4	4
為替差益	358	446
デリバティブ評価益	1,113	3,080
補助金収入	54	49
その他	272	320
営業外収益合計	1,810	3,923
営業外費用		
支払利息	369	412
その他	52	280
営業外費用合計	421	693
経常利益	4,609	10,233
特別利益		
固定資産売却益	0	192
その他	0	1
特別利益合計	0	194
特別損失		
固定資産処分損	9	35
投資有価証券評価損	20	—
特別損失合計	29	35
税金等調整前四半期純利益	4,580	10,392
法人税等	1,888	3,439
四半期純利益	2,692	6,953
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,692	6,953

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,692	6,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	50
為替換算調整勘定	5,526	4,447
その他の包括利益合計	5,499	4,498
四半期包括利益	8,192	11,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,192	11,451
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,580	10,392
減価償却費	6,231	6,554
のれん償却額	2,045	2,104
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	29	△131
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△67	△94
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△192
固定資産処分損益 (△は益)	9	35
受取利息及び受取配当金	△10	△26
支払利息	369	412
デリバティブ評価損益 (△は益)	△1,113	△3,080
有価証券評価損益 (△は益)	18	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	2,755	△6,307
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,745	△5,620
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,444	△10,287
その他	△2,232	1,989
小計	2,425	△4,252
利息及び配当金の受取額	10	27
利息の支払額	△369	△399
補償金の受取額	—	504
補助金の受取額	54	49
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,832	△454
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,710	△4,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,502	△18,047
短期貸付金の増減額 (△は増加)	0	—
長期貸付けによる支出	△0	—
長期貸付金の回収による収入	—	0
その他	△730	233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,233	△17,814
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	223	390
長期借入れによる収入	16,400	25,999
長期借入金の返済による支出	△4,129	△3,689
新株予約権付社債の償還による支出	△4,150	—
配当金の支払額	△1,623	△1,476
その他	△44	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,675	21,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	875	913
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,393	△296
現金及び現金同等物の期首残高	32,830	24,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,437	23,960

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,597	19,902	90,500	—	90,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	70,597	19,902	90,500	—	90,500
セグメント利益	5,048	217	5,265	△2,045	3,220

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,045百万円は、のれん償却額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	84,173	23,222	107,396	—	107,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	75	75	△75	—
計	84,173	23,297	107,471	△75	107,396
セグメント利益	8,880	253	9,133	△2,130	7,003

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,130百万円は、のれん償却額△2,104百万円、セグメント間取引消去△26百万円
であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。